

我孫子市交通安全推進協議会 第1回 会議の概要

- 1 日 時 平成23年6月17日(金) 午前10:00～11:30
- 2 場 所 市役所分館2階小会議室
- 3 出席者 (委員)
河野聡委員、原田修委員、鈴木幸子委員、小林ふみ子委員、桜井和子委員、
齋藤仁委員、小嶋榮一委員、鈴木孝委員
(欠席委員：丸智彦委員、鈴木絢子委員、津川勝彦委員、武藤英樹委員)
(事務局)
海老原市民安全課長、鈴木課長補佐、服部主査、中野
- 4 議 題 (1) 第9次我孫子市交通安全計画(案)について
(2) 今後のスケジュールについて
- 5 会議の公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議内容
(事務局説明)

前回の会議については、委員の方の都合がつかず延期したが、3月11日の地震でしばらく開催できなかったことについてお詫びと報告。

委員の変更のお知らせ

- ・小学校長代表 新・齋藤仁委員 前・井上和也委員
- ・中学校長代表 新・丸智彦委員 前・中村富士夫委員
- ・我孫子市PTA連絡協議会会長 新・武藤英樹委員 前・増田昌一委員

【我孫子市の交通事故の現状について】

(河野委員説明)

- ・平成23年の死亡事故について

1件目：平成23年2月1日 午後11時30分

北新田(農免道路)において78歳男性が歩行中に、29歳女性の運転する車から衝突された。

2件目：平成23年5月14日 午後9時55分

柴崎の国道6号線下りで歩道橋のある場所であったが、35歳男性が、歩道橋を使用せず歩道橋近くの道路を横断しているところを、19歳男性の運転する乗用車に衝突された。

警察の目標としては、年間の死亡事故は3人以内と掲げているので、危機感を募らせており、交通安全講話等に力を入れて交通安全を訴えている。

・平成23年1月1日から6月15日現在の状況について

人身事故 174件 前年同期比－11件

負傷者数 210名 前年同期比－31名

物件事故 866件 前年同期比－68件

(特徴) 事故の多い時間帯は、朝の通勤時間帯、夕方薄暮時の事故なので、夕方薄暮時には明るい色の服を着用し、反射テープを貼ることが有効

1番目 (場所) 直線道路、(原因) 前方不注意

2番目 (場所) 信号機のある交差点、(原因) 信号機の変り目に直進車と右折車が衝突。右折が左折の2倍

3番目 (場所) 信号機のない交差点

4番目 (場所) 交差点の直近

特に交差点を車が右折時に右から横断する自転車と事故を起こすケースが多い。運転者は、もう一度右後方の確認が必要。

【議事】

(1) 第9次我孫子市交通安全計画(案)について

(事務局からの説明)

○ 計画の作り方

・千葉県第9次交通安全計画(平成23～27年度)は、3月22日に千葉県交通安全対策会議において策定された。中身については、8次を踏襲したかたち。子ども・高齢者に対する交通安全教育、障害者、いわゆる交通弱者に対して配慮したものが付け加えられている。

・市の第9次交通安全計画は、第8次交通安全計画をもとに関係課に照会し、修正事項を加え、組み立てをしておして案として作成している。

○ 内容について

・「まえがき」を新たに追加。

・P1～12 第2章第1節道路交通事故のすう勢の特徴点について説明。

・文中に過去5年間の事故の件数等のデータを表及びグラフ形式で掲載。

・P19 第8次にはなかった内容としては、自転車の安全性の確保を追加。実際自転車事故の割合は減少していない。ルール、マナー、整備について盛り込む。

・県計画を参考としたが、目標については具体的数字を盛り込まず、「着実に減少させる」とした。

- ・P14 道路交通安全対策には大きな変更点なし。
- ・P16 各駅前のバリアフリー化については、計画が進んだことにより、具体的に記載した。
- ・P19（3）第8次計画には、チャイルドシート貸出制度について記載していたが、現在チャイルドシート着用が義務付けされたことから、制度自体を廃止したので削った。
- ・P19（4）②自転車安全整備制度（TSマーク制度）について新たに記載。
- ・P21「5 道路交通秩序の維持」に飲酒運転は「しない・させない・ゆるさない」環境づくりが大事なので、ボリュームを足すなど、若干変更する予定。
- ・P23「7（2）交通安全災害共済加入促進」については、一般加入・集団加入併せて7500人以上の加入いただいている。過去と比較すると加入者が増えており、意識が高まっていることから、普及を徹底させるためにさらにボリュームをつけたい。
- ・P23「7（3）交通事故相談体制の維持」については、年間25～30件の相談件数がある。交通事故で困っている方がいるので、賠償問題に詳しい専門の方による相談窓口があることをより広く知らせるために広報活動を充実したいので、ボリュームをつけたい。

（質疑）

○ 体裁・文言について

- ・P5 グラフがモノクロで見えにくい。（鈴木幸子委員）
- ・P1「さだめる」→「定める」に。P2 専門用語（「道路空間づくり」「はしご型の交通軸」等）が多いので、分かりやすくしてほしい。（鈴木孝委員）
- ・専門用語のすぐそばに解説を表記するようにしたい。（事務局）
- ・P14「行います」「実施します」等の表現は、計画上では予算の確保等の観点から、「推進します」等にするのが適当ではないか。（鈴木孝委員）
- ・担当課と確認したい。（事務局）
- ・誰に配布するものなのか、それによって表現も変わってくるのでは。（小林委員）
- ・紙ベースのものを市民にお配りする予定はないが、ホームページ上には掲載したり、行政情報資料室等には配置したりするので、やはり市民向けということで、分かり易い表現を心がける。（事務局）

○ 高齢化や環境に配慮した公共交通機関の利便性向上について

- ・P16 高齢者ドライバーの事故が増加している。後方確認せず発進するなど、考えら

れない事故が発生している。免許証を自主返納することで、公共交通機関を利用する際に割引等の優待措置があれば、返納する人も増えるのでは。いすみ市、柏市などで補助や割引をしている。(河野委員)

・免許に代わるものとしては、あびバスの無料化や証明書の発行手数料の無料化、住民基本台帳カード作成の無料化等の検討の投げかけはできるが、表現として計画上に掲載するのは難しい。(事務局)

・高齢者の方はなかなか情報が入らない。こういったものを作る予定であるといったことを市民の皆さんにお知らせして欲しい。あびバスや阪東バスにそういった話をしているのだが。老人の人も情報を受ければ考えが変わるのではないか。(河野委員)

・高齢者が加害者になる事故を減らす必要がある。(事務局)

・毎年あびバスへは3000万円以上の補助を出していると思うので運営に負担がかからないような形で検討いただけるといい。努力目標として、検討していくといった書き口で表現できればいいが。

・検討する。(事務局)

○ 我孫子市地域公共交通総合連携計画との整合について

・我孫子市地域公共交通総合連携計画(素案)についてのパブリックコメントを実施されていると思うが、どういう意見があったのか知りたい。交通課との連携はあるのか。(小林委員)

・図っていないので、関連したりまとまったものがあれば交通課と調整し、計画に盛り込んだりするよう検討したい。(事務局)

○ パブリックコメントについて

・本計画のパブリックコメントは行うのか。(鈴木孝委員)

・考えていない。県計画に基づくものとして推進しているので、各市においてのばらつきはあるが、我孫子市としては、考えていない。(事務局)

○ 啓発について

・新入学生へのチラシ・グッズ配布とは具体的にはどのようなものか。(鈴木幸子委員)

・小学1年生には、親と一緒に話し合ってもらおうよう、信号機のことなど、交通安全についての冊子の配布や、信号機等のグッズを渡し、中学生には自転車通学を始める時期であることから、改めて反射材の配布や自転車の正しい乗り方を啓発し、できる

限り学校の方には授業に組み入れた形で、交通安全教室の実施をお願いしている。(事務局)

- ・乳幼児健診の際チラシを配布とあるが、自転車に子どもを乗せている母親がマナーを守っていない。母親を対象に指導・啓発を行ってほしい。(小林委員)
- ・母親層に対する啓発を実施していきたい。(事務局)

○ 標識等の安全対策について

- ・視覚障害者にとって、標識はまっすぐ立ったものや根元が曲がった形状のものがあり、歩くのに危険。手前から標識があることを知らせる方法はないのだろうか。(桜井委員)
- ・現在立てられている標識については、既に生活されている中で気づかれていると思う。道路幅が限られている中、バリアフリーということでは、配慮していく必要があるが、表現としては難しい。新たに設置を要望する段階では考慮していく。(事務局)

○ 高齢者の運転免許所返還

- ・高齢者講習を受けられた方のうち、免許証を返納される人はどのくらいの割合でいるのか。(鈴木幸子委員)
- ・統計は取っていないので分からない。75歳以上の高齢者に対しては、講習予備検査があり、そこで適正かどうかの判定をし、適正でないとなると、運転免許センターで返納となる。病気を持っている方の場合もあり、栃木県で持病を持っている人が意識をなくして事故につながったケースもあり、このような事故を無くすためにも、免許証の返納をしていただきたいが、なかなか返納していただけないのが現状。(河野委員)

○ 自転車加害者となる事故

- ・P18 自転車加害者になる事故はあるのか。そのようなデータがあれば、自転車のマナーの向上といったことにつながるのではないかと。(齋藤委員)
- ・ある。自転車競技大会というのがあり、力を入れている松戸市あたりは自転車事故が少ない。(河野委員)
- ・P12 に自転車加害者の事故について警察からデータを頂いたうえで、表を入れ込みたい。(事務局)

○ 交通安全教室の内容

- ・交通安全教室の内容はどのように実施しているのか。(鈴木幸子)

・小さなお子さんには、交通安全講話として警察からお邪魔して、DVDを見てもらったり、実際ダミー人形を使って危険な状況の体験をしてもらったりしている。

高校生に対してはスケアード・ストレイト技法を使った自転車交通安全教室を実施している。(河野委員)

・学校側からこういう内容で、というお願いもできるのか。交通安全教室を見たが、小学1・2年生対象に、同じ内容で、幼稚園でやっている様な内容だった。親子教室となっていたが、親は見ているだけであった。親と一緒に講話が大事と思う。低学年は自転車の乗り方のルールをしらないと危険。((鈴木幸子委員)

・こういうことでやりたい、という内容を伝えていただければ、何が必要かわかる。直接担当される先生にお話をいただけるとありがたい。(河野課長)

(2) 今後のスケジュールについて

(事務局)

本日いただいたご意見等を反映させ、関係課との調整を図り、7月上旬から中旬ぐらいまでに手直しをしたものを提出したい。

概ね本日お示しした骨子でよいということの承認をいただきたい。また、皆さんのご意見を参考に修正したものを配った後でも、直したいと考えているので、その承認もいただきたい。

8月上旬までにそれに目を通して頂いた後、ご意見・ご質問を個別に受けたい。それを受けてある程度まとまったものを、8月末か9月上旬に内部決済を受け、9月末までに完成させたい。

大きな変更等はないと思うので、文言の整理程度と理解しているので、個別に対応したいと思う。

(全委員)

承認

(鈴木孝委員)

23年度からスタートということであるので、極力早く完成させ、市民の方に周知をして第9次の計画ができたとお示しした方がいいのでは。

(事務局)

なるべく早く作りたい。

以上